

事業所名: 第2グループホーム ふるさと

作成日: 平成 31 年 2 月 27 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ヒヤリハットの質の向上を行いたい	様々な角度から分析する事で具体的な対策を立てる事が出来る	①QC活動の定着や安全対策委員会での意見交換を図って行く ②シエルモデルの研修会を実施する ③シエルモデルの活用	12 ヶ月
2	33	重度化、看取りについての対応を強化したい	看取りに対する理解を高め、利用者、家族に重度化する中でも、不安無く、今後の方向性を話し合うことが出来るようになる	①重度化についての勤務体制や対応についてのマニュアルを見直す。 ②マニュアルを使用した研修会を実施する。	6 ヶ月
3	35	災害時に備えた、準備を行いたい	災害時の対応を全職員が理解できる	①BCPの見直し、更新行っていく ②BCPに基づく、訓練を計画する ③ハード面に関しての強化、点検を実施する	12 ヶ月
4	35	災害時に備えた、訓練を行いたい	訓練を行う事で、災害時に適切な対応が出来るようになる	①火災訓練だけでなく地震、工砂災害などの訓練を計画する ②当法人事業所と連携を図りながら訓練を実施する ①近隣の方へ施設見学の声かけする。 ②近隣の方へ災害時の協力を依頼する。 ③近隣の方も含めた訓練を実施する	12 ヶ月
5	40	利用者が食に関わる楽しみを作りたい	自分達で育てた野菜を食材に使うなどして、食事を楽しむ事が出来る	①施設周りを使用した家庭菜園(畑、プランター)を行う ②成長した野菜の収穫を行う。又、手入れ等も実施する ③収穫した物を料理に取り入れる	6 ヶ月

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	43	自立支援強化を図りたい	排泄モニタリングを継続して行う事で、排泄の自立に向けた支援が出来る	①排泄モニタリングを行い、失禁状況などを把握する。 ②排泄モニタリングの結果に基づき、対策を講じケアの統一を行う。 ③定期的にケアの見直しを行う	12 ヶ月
7					ヶ月
8					ヶ月
9					ヶ月
10					ヶ月
11					ヶ月

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
12					ヶ月
13					ヶ月
14					ヶ月
15					ヶ月
16					ヶ月
17					ヶ月